



日本インターネットガバナンス会議 (IGCJ)へようこそ

2016年6月2日 IGCJ13
IGCJを考える会

IGCJ Webサイト <http://igcj.jp/>

IGCJ
インターネットガバナンスとは
About Internet Governance

IGCJとは
About IGCJ

ミーティング
Meetings

お知らせ
News

IGCJへの参加
Join IGCJ

いいね! 71
ツイート

無関心ではいられない 一歩先の未来へ

We can't remain indifferent to our future – IGCJ

最新のお知らせ News

すべてのお知らせ

2016-05-25 第13回IGCJ会合 プログラム確定およびビギナーズチュートリアル開催のご案内

2016-05-19 第12回IGCJの録画を公開

インターネットガバナンスとは

About Internet Governance

「インターネットガバナンスとは何か」は、一般社団法人日本ネットワークインフォメーションセンター(JPNIC)のページで解説されています。

日本インターネットガバナンス会議(IGCJ)とは

About IGCJ

インターネットガバナンスに関し、適切な状況認識の上で充実した検討ができる会議です。メーリングリストに登録することで、どなたでもご参加いただけます。

ミーティング資料

Meeting Materials

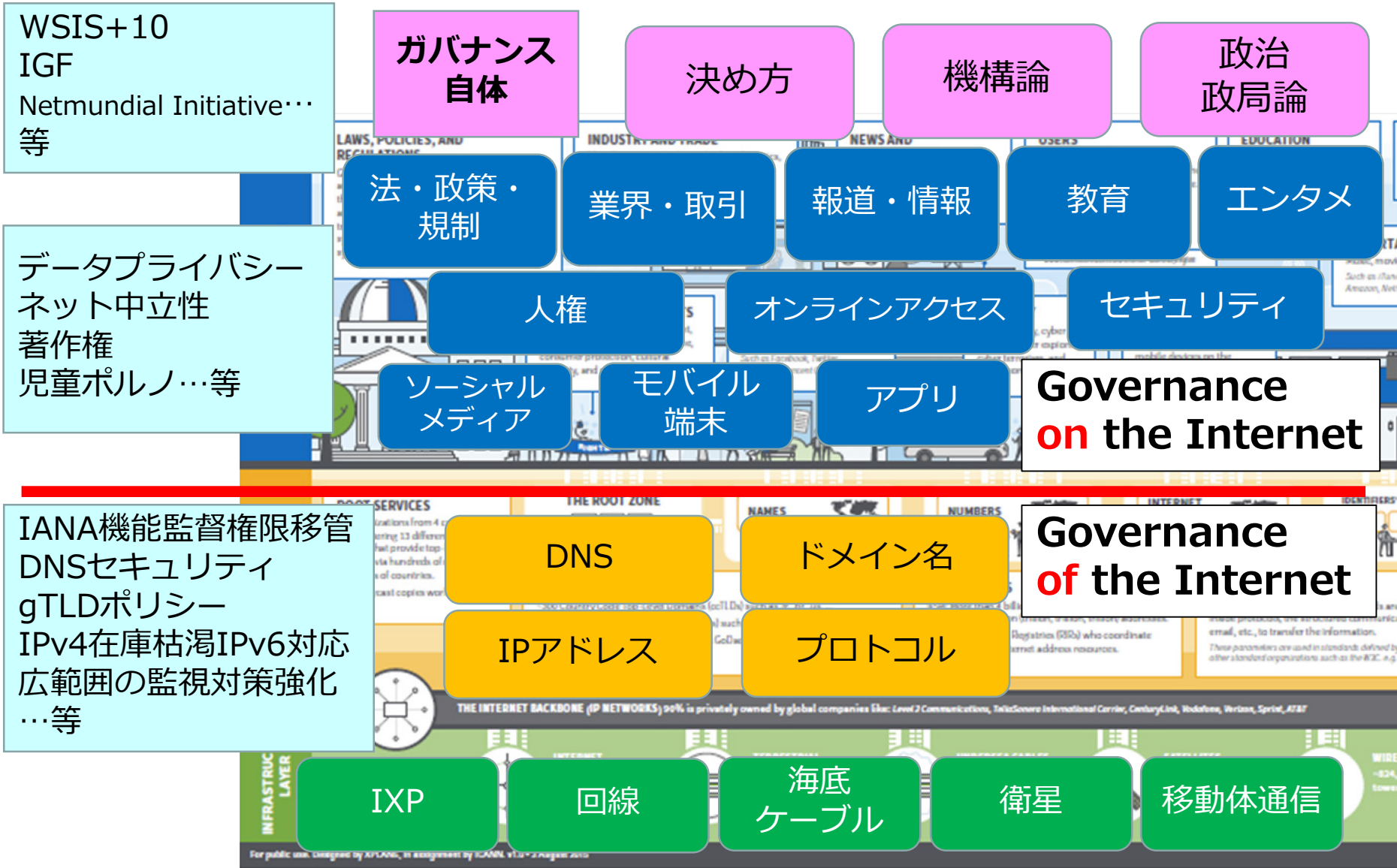
IGCJミーティングの資料や議事録です。動画も公開されています。

Copyright© 2014-2016 Internet Governance Conference Japan

様々な課題例

分野	課題	課題の具体例
体制	インターネットガバナンスの体制論	ICANN 及び各資源管理団体の在り方、NETmundial の体制確立、IGF の動向
	国家のIGに対する関与のあり方、 国家間情勢	拡大協力(Enhanced Cooperation)
技術	技術規格	技術規格策定に関するもの(例:ある国による一方的な誘導)
	セキュリティ技術	サイバー攻撃防御、ネット基盤脆弱性の回避、フィッシング対応、 ルーティングセキュリティの導入
	迷惑(Abuse)行為対策	迷惑メール対応
ネットワーク運営	運用のコーディネーション	NOGsが取り組む、インターネット全体の経路制御など協調運用
	相互接続	事業者間の接続料金精算、地域IX、途上国IXの設置
	資源管理	ドメイン名(ccTLD, gTLD)/IPアドレス/プロトコルパラメータ管理に関するポリシー、 IPv4アドレス枯渇
ネットワーク政策	ネット中立性	基盤プロバイダー vs. コンテンツプロバイダー(特に費用負担) 圧倒的多数の利用者 vs. 少数のヘビーユーザー 帯域の制約 vs. 利用者の自由
	インターネットアクセスに関する政策	僻地/途上国におけるインターネットアクセスの提供、ユニバーサルサービス
利用者	セキュリティ	不正アクセスによる資産の盗用、毀損
	オンラインアイデンティティ	アイデンティティの電子的盗用
	人権	児童ポルノ、表現の自由、通信の秘密など
	プライバシー	利用者のプライバシー侵害防止、越境データの国際的な保護、 サービス向上との兼ね合い
	政府機関による広範な監視	国防とプライバシーのバランス
コンテンツ	知的財産権(著作権)	規制 vs. 新ビジネスおよびユーザーの利便性との兼ね合い 権利者 vs. サービス提供者およびユーザーの便益
振興	教育	
	経済成長・持続的開発	
	途上国支援	

様々な課題例(グラフィカル版)



IGCJスタートの背景

- インターネットの課題はより…
 - 複雑化、グローバル化、影響が重大に、様々な利害関係者が関与、政治問題化…
- グローバルでは、継続的にインターネットガバナンスに関する議論が盛り上がり
 - インターネットガバナンスフォーラム(IGF)等
- 日本におけるインターネットガバナンスに関する関心の低さ
- この状況に対処する活動が日本に存在しなかった

IGCJは何をするところ？

- 様々なステークホルダーが様々なインターネットの課題を議論するための場
- 主な活動
 - 2ヶ月おきに会合を開催
 - メールングリストでの議論
- 既存の、およびテーマに特化した活動との連携

IGCJ概要(2016/6/1時点)

- 設立：2014年6月18日
- メーリングリスト購読者数：285
- ミーティング参加者：30～40名程度 (事務局担当者除く)
 - 主に技術者、運用者、ビジネス関係者
 - 他に政府、教育機関など
- 開催した会合：通常12回、臨時1回
 - <http://igcj.jp/meetings/>



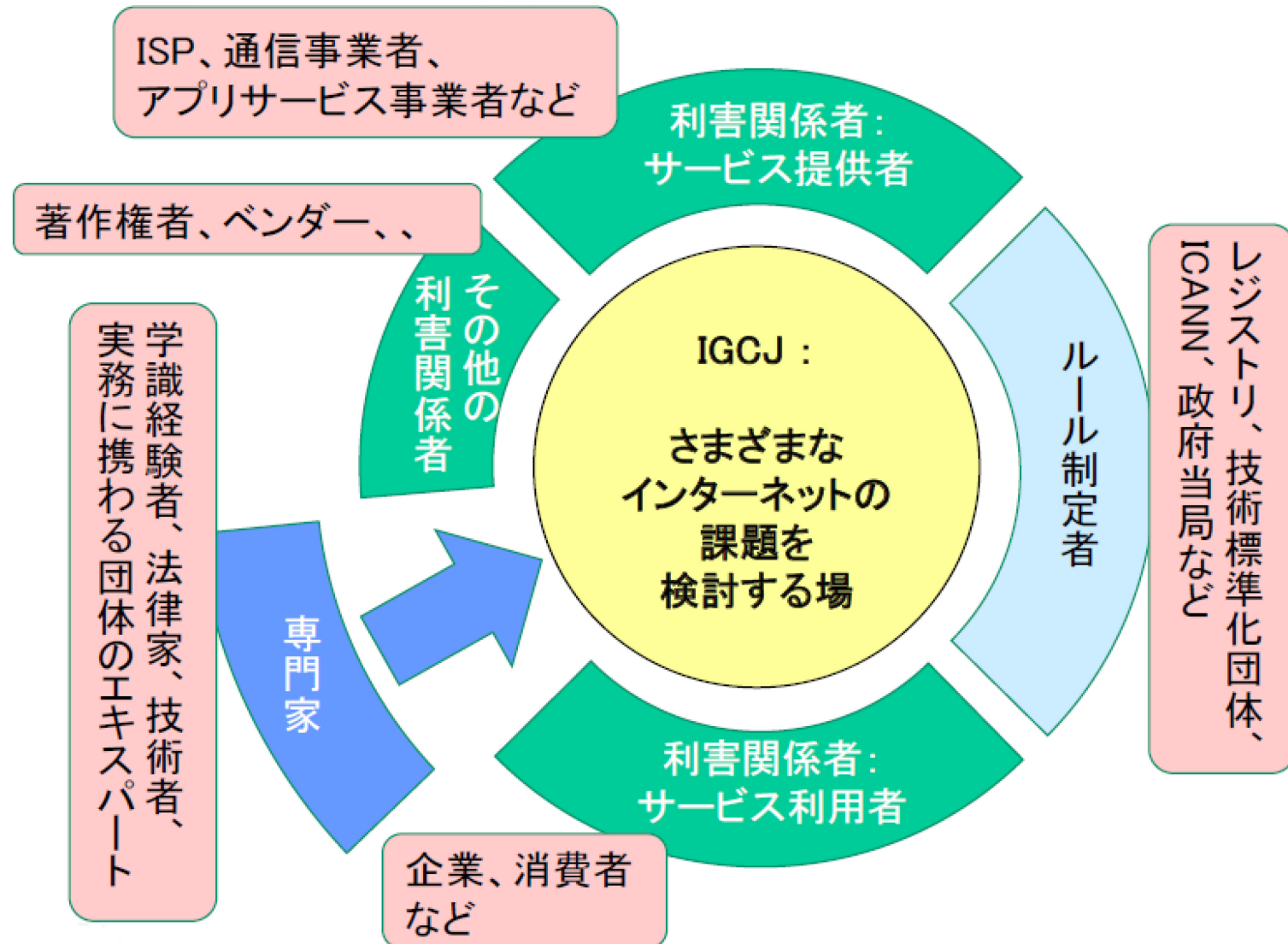
運営周辺

- 事務局
 - JPNICが担当
 - 業務内容
 - メンバー用メーリングリスト(member@igcj.jp)の運営
 - 問い合わせ窓口(sec@igcj.jp)の対応
- IGCJを考える会(IGCJ Coordination Team)
 - 事務局からの呼びかけによって参加した**多様な分野から**
のボランティアメンバー
 - 現在4人
 - 定期的にミーティング
 - 開催時のプログラムの検討
 - 活動の**活性化**のための各種検討
 - ミーティング議事メモは都度公開

主な話題

- IANA監督権限移管
- インターネットガバナンスフォーラム (IGF)
- 国連、ITU方面
 - WSIS+10など
- セキュリティ原則／ドキュメント
- ネットワーク中立性
- IGCJ自身の運営に関するもの
 - 運営方針など

IGCJを取り巻く関係者



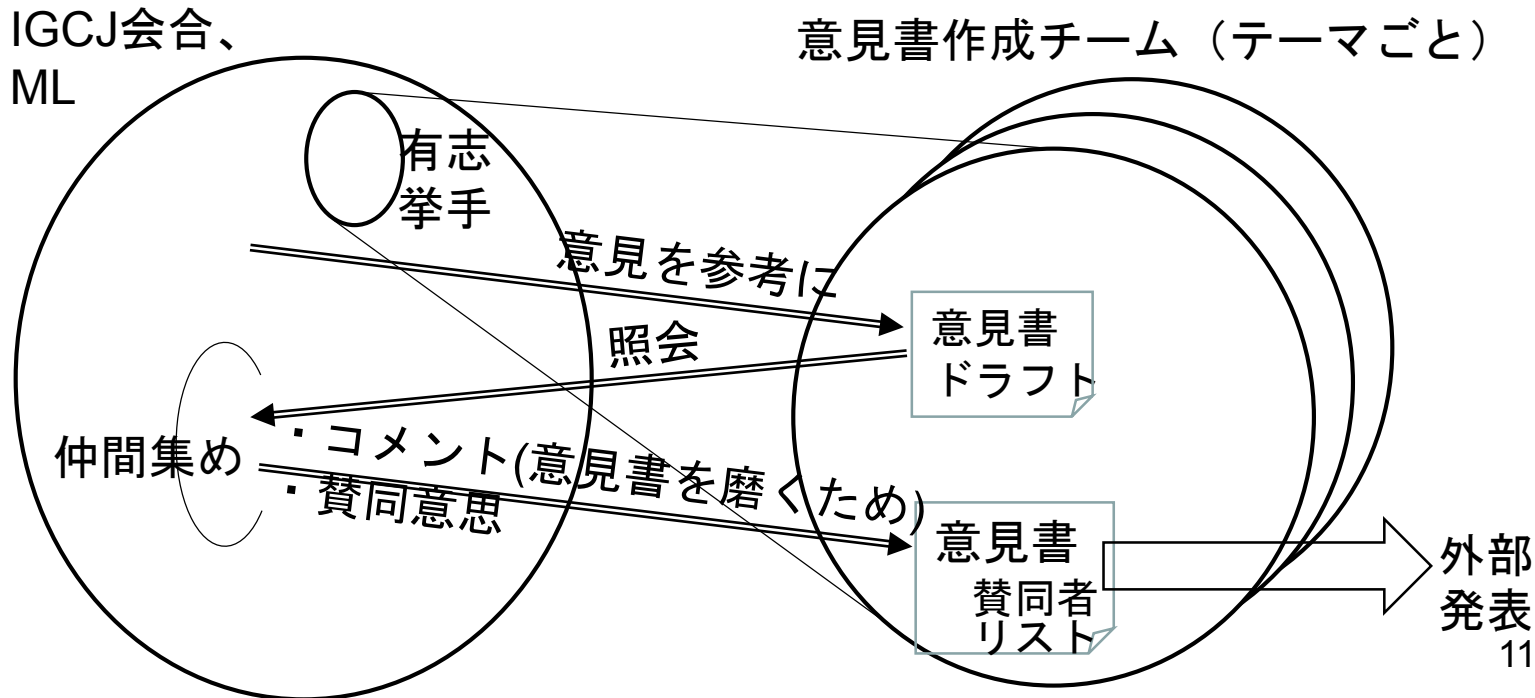
賛同者募集モデル

IGCJを場として使い意見集約する一つの方法

- IGCJとしての意見集約は困難という背景



- IGCJをプラットフォームとして意見発信に使う一つの方法



賛同者募集モデルの例

- セキュリティに対する考え方／原則のドキュメント化
 - インターネットに関するセキュリティに関する基本の考え方
 - マルチステークホルダー間の議論のルート文書となることを意図
 - 2015年7月活動開始(当初メンバー数16)
 - 議論：IGCJ8および12
 - 活動中
- IANA移管に向けた意見提出
 - IANA移管提案検討グループ(ICG)からの意見募集への対応(2015/7)
 - 設立(2015/8)：当初メンバー数：9
 - 草案公開(2015/8/24)
 - 意見募集(2015/8/24～9/2)
 - 公開検討会議開催(2015/9/1)
 - 賛同者募集(9/3～8)
 - 意見提出(9/8)：賛同者数 92名
 - <http://igcj.jp/news/2015/09/09.html>

IGCJのこれまでの成果

- インターネットガバナンスに関して日本で最初の、誰でも参加できる活動
 - 比較的高頻度（年6回）
- 様々な分野の方が参加（ビジネス、政府、学界、利用者）
 - より多くの、広範囲な方々の参加が必要
- IANA移管に関する意見提出活動は顕著な一里塚
- コミュニティ形成は未だ発達途上、しかしマルチステークホルダーによるコンセンサス形成を念頭に置いて前進中

新規参加者への期待

- コミュニティの継続の力
- 問題提起・議論のキックオフ

IGCJをプラットフォームとして使う
皆さんの情熱・関心が、物事を動かします